

NetCommons で作る、魅力あふれる学校サイト

—国産オープンソース CMS・NetCommons を使った学校サイトの構築—

国立情報学研究所助教授 新井 紀子

arai@nii.ac.jp

<http://www.netcommons.org/>

キーワード：オープンソース、CMS、ブログ、グループウェア、学校サイト、携帯電話

1. はじめに

ここ数年の学校ホームページの普及にはめざましいものがあります。平成17年3月の統計によると、ホームページのある学校の率は中学校で68.6%、小学校では69.7%、と平成17年度中に7割を超えることが確実です。では、これによって、ホームページを通じて学校の教育に対する考えや取り組みが適切に配信され、保護者や地域との連携を強める拠点となっているか、また、子供たちの学習をサポートするツールとして活用されているか、ということと必ずしもそうではありません。

学校ホームページを巡ってみると、カラフルな背景色、GIF アニメーションを駆使したボタンなどが配置され、中にはホームページを開けたとたん校歌が流れるものもあります。実はそのどれもがホームページへのリピーターを減らす原因を作っているのをご存知でしょうか。他にも①サイトマップやナビがない②トップページや上位ディレクトリに移動するボタンがない③デザインに統一感がない④定期的に情報が更新されていない⑤どの情報が更新されているのかわからない⑥リンクが切れている といった問題点が挙げられます。これでは、せっかくホームページを作成しても、学校の情報が適切に保護者や地域の方に届いているとはいえません。

ある調査によると、半数以上の学校ホームページが1人の教員によって構築・運営されていて、ホームページ運営のための明確な取り決めがないが学校が24%にものぼるそうです。ホームページ作成を担当していた教員の異動によって、学校サイトが放置されることもしばしばです。

では、メールが使える程度のIT知識があれば誰でも更新ができ、絵心のない教員でも統一感のある美しいホームページを作成するにはどうしたらよいのでしょうか。こうした要望に応えることができるのが、CMS（コンテンツマネジメントシステム）です。

2. NetCommons とは

国立情報学研究所は、情報学に関する総合研究に加え、学術情報の流通のための先端的な基盤の開発と整備を行う大学共同利用機関です。国立情報学研究所では教育機関の情報流通を促進するのをお手伝いするために NetCommons という CMS を 2003 年から開発・公開しています。現在までに約 4,000 件の NetCommons がダウンロードされ、千葉県総合教育センター、東京大学、東京工業大学、国際基督教大学などの教育機関に幅広く導入されています。

NetCommons はサーバにインストールするソフトウェアです。これをインストールすると、自動的に枠組みだけのウェブサイトが構築されます。このサイトにはあらかじめ、カレンダー・ブログ・掲示板・カウンターなど学校のホームページ作成に必要な機能が「モジュール」として装備されています。このモジュールを積み木のように組み合わせるだけで美しいポータルサイトを構築することができるのです。すべての操作はウェブ上のボタン操作でできますから、ftp は不要です。ユーザはブログを見るのと同じように、通常のブラウザさえあれば閲覧・操作が可能です。

オープンソースというのとかく、「誰が開発しているのかわからない」「不具合があってもサポートしてもらえないのでは?」「いつか消滅してしまうのでは…」といった不安がつきまといますが、NetCommons は国立情報学研究所が社会貢献の一環として継続して、開発・運営・サポートをしているソフトウェアです。NetCommons 公式サイト (<http://www.netcommons.org/>) では、ユーザの質問に答えるだけでなく、セキュリティーやバージョンアップに関するお知らせをメールで配信しています。他のオープンソースのように誰もが自由に開発に参加できる、といった敷居の低さはありませんが、安定した開発と教育に特化したタイムリーな開発には定評があります。

3. NetCommons を使って学校サイトを作る

NetCommons の機能はホームページを作るだけにとどまりません。①保護者に ID とパスワードを発行し、災害情報・不審者情報などを保護者のメールアドレスに自動送信する機能 ②学年ごとの部屋を作成し、その中でグループ学習や Web 学級日誌をつける活動を支援する機能 ③携帯電話から NetCommons サイトにアクセスし、コンテンツを閲覧する機能 ④メーリングリストを簡単に作成し、その内容を掲示板として保存する機能 ⑤テストやアンケート、レポート提出を実施する機能 などがあらかじめ盛り込まれているのです。図 1 は、NetCommons に搭載されている、カレンダー機能や掲示板機能を使って、学校行事を広報したり、不審者情報や新学期の持ち物について保護者に連絡をしたりしている画面です。こうした情報は、簡単な設定によって、関係者全員にメールで配信されるようにすることが

できます。NetCommons を導入すれば、学校ホームページが構築できるだけでなく、メーリングリストやブログ、さらにはeラーニング用グループウェア、フォトアルバムから簡単なデータベース構築までおよそ現在ウェブによって可能となっているほとんどすべての機能が手に入るのです。



メールで配信でき、携帯からもアクセスできる掲示板。災害・不審者情報を保護者に通知するのに最適！

学校行事を書き込むカレンダー。拡大表示を選べば、ページ全体に表示される。学校開放の施設予約も可能。

千葉県総合教育センターでは、平成17年度に NetCommons を導入し、県内の学校ホームページ構築に活用しただけでなく、センター内で行っている教員研修のウェブ化、所員の情報共有の基盤などに積極的に活用しています。同じように、静岡県の総合教育センターでも平成18年度には県内の高等学校に導入する予定です。

既に NetCommons を使って学校ホームページを作成している教員の方からは「更新が非常に楽」「わかりやすいホームページで、保護者からも評判がよい」「パソコンを持っていない保護者でも携帯は持っている。携帯からアクセスできるのがありがたい」「ここまでの高機能の CMS が無償で提供されているのは驚きだ」というご意見をいただいています。

国立情報学研究所では、今後も多くの学校に NetCommons をご利用いただき、日本の学術ネットワークの充実をはかっていきたいと考えています。



図2 NetCommons を利用して構築した船橋市立三山東小学校のホームページ